TSUKUBA SPORTS NEWS FLASH
Vol.87 2021.12/1-22.1/31

女子サッカー部
８年ぶり準決勝　３位入賞

硬式庭球部　阿部宏美
全日本学生タイトル全制覇！

女子サッカー部

阿部宏美（体育３）

優秀選手賞　二上耀（体育４）

男子バレーボール部　インカレ４位

TOPICS

【スキーオリエンテーリング】　佐野 響（M2）
　世界選手権，世界学生選手権ともに連続出場へ
【体操】ラート世界選手権日本代表に学生・教員3名選出
【剣道】全日本学生選手権　黒川雄大（体育3）優勝!
　笠 日向子（体育1）3位
【柔道】全日本ジュニア体重別　米川明穂（体育2）優勝!
【女子バレーボール】全日本大学選手権3位
【AD】新チーム始動に向け「リーダー研修」を開催

箱根駅伝　福谷颯太（体育３）が関東学生連合チームで力走

【男子アイスホッケー】

関東大学リーグ戦（特別大会）Div.II
- ●筑波大 0－3 ○駒澤大
- ○筑波大 7－1 ●一橋大
- ○筑波大 2－0 ●東京大

最終結果：3 勝 2 敗，第 3 位（6 校中）

【アメリカンフットボール】

関東大学秋季リーグ（2 部A）
順位決定戦
- ●筑波大 14－38 ○東海大

最終結果：2 部Aブロック 2 位

＊15年ぶりの 1 部昇格

【オリエンテーリング】

スキーオリエンテーリング北海道選手権
- 佐野　響（M2）
  - スプリント競技・女子　第 3 位
  - パシュート競技・女子　第 3 位

★世界学生スキーオリエンテーリング選手権（2/22 ～ 26，チェコ），並びに世界選手権（3/13 ～ 19，フィンランド）日本代表に選出！

【剣道】

第69回全日本学生剣道選手権大会（男子）
- 黒川　雄大（体育 3）　優勝
- 重黒木 祐介（体育 3）　4 回戦進出
- 近本　太郎（体育 4）　3 回戦進出

第55回全日本女子学生剣道選手権大会
- 笠　日向子（体育 1）　第 3 位
- 海津 ゆきえ（体育 2）　ベスト 8
- 海津 みなみ（体育 4）　4 回戦進出

第22回関東女子学生剣道新人戦大会
- 1 回戦　○筑波大 5－0 ●高崎健康福祉大
- 2 回戦　○筑波大 3－0 ●平成国際大
- 3 回戦　○筑波大 3－0 ●大東文化大
- 準々決勝　○筑波大 3－0 ●尚美学園大
- 準決勝　○筑波大 4－0 ●東洋大
- 決勝　○筑波大 2－1 ●中央大

よって，優勝

【硬式庭球】

第58回全日本学生室内テニス選手権大会
男子シングルス
- 石樽 元晴（体育 3）　1 回戦敗退

男子ダブルス
- 石樽 元晴・中村　元（体育3/体育 1）　1 回戦敗退

女子シングルス
- 阿部 宏美（体育 3）　優勝！

これにより学生タイトル制覇！
- 照井 妃奈（体育 2）　2 回戦敗退
- 塚田　結（体育 2）　1 回戦敗退

女子ダブルス
- 阿部 宏美・川出 莉子（体育3/体育 2）　ベスト 8
- 照井 妃奈・西尾 萌々子（体育2/体育 1）　ベスト 8

女子シングルスで優勝した阿部宏美

【サイクリング】

UCIトラックチャンピオンズリーグ
梶原 悠未（M2）
- 第 3 戦　女子スクラッチ 9 位，エリミネーション 4 位
- 第 4 戦　女子スクラッチ 1 位，エリミネーション 4 位

＊チャンピオンズリーグ総合成績　第 5 位

【蹴球】

第70回全日本大学サッカー選手権大会
- 2 回戦　○筑波大 3－0 ●京都産業大
- 3 回戦　●筑波大 0－1 ○駒澤大

よって，ベスト 8

【女子サッカー】

皇后杯第43回全日本女子サッカー選手権
2 回戦
- ●筑波大 0－4 ○伊賀FCくノ一三重

よって，2 回戦敗退

＊皇后杯の初戦突破は女子サッカー部史上初！

第30回全日本大学女子サッカー選手権
- 1 回戦　○筑波大 2－0 ●徳山大
- 2 回戦　○筑波大 0－0（PK5-4）●東洋大
- 準々決勝　○筑波大 2－0 ●明治国際医療大
- 準決勝　●筑波大 0－1 ○早稲田大

最終結果：第 3 位　＊ 8 年ぶりベスト 4

【柔道】

全日本学生柔道体重別団体優勝大会
男子団体
- 2 回戦　○筑波大 3－0 ●順天堂大
- 3 回戦　●筑波大 2－2（代表戦）○国士舘大

よって，ベスト16

女子団体
- 2 回戦　○筑波大 1－1（内容）●国士舘大
- 準々決勝　●筑波大 1－3 ○明治国際医療大

よって，ベスト 8

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
男子
- 90kg級　戸高 淳之介（体育 1）　準優勝
- 　小畑　大樹（体育 2）　第 7 位
- 100kg級　長谷川 功斉（体育 2）　第 5 位

女子
- 63kg級　谷岡 成美（体育 1）2 回戦敗退
- 70kg級　有瀬 心里（体育 2）1 回戦敗退
- 78kg超級　米川 明穂（体育 2）　優勝

第36回皇后盃全日本女子柔道選手権大会
- 都留　麻瑞（体育 4）　3 回戦敗退
- 有瀬　心里（体育 2）　2 回戦敗退

全日本柔道選手権大会
- 千野根 有我（体育 3）　3 回戦敗退

【体操競技】

第75回全日本体操団体選手権
男子団体総合
- 筑波大　248.691点　第 8 位

［杉山智哉（体育 4），橘汐芽（体育 3），長﨑柊人（体育 3），中山怜（体育 3），末次耕太朗（体育 1），平松航河（体育 1）］

女子団体総合
- 筑波大　150.197点　第 6 位

［露峯宙（体育 4），佐藤涼香（体育 3），柏木淑里（体育 2），深沢こころ（体育 2），坂谷りんね（体育 1），塙颯香（体育 1）］

【体操】

世界ラート競技選手権2022日本代表選考会
- 堀口　文（体育系/特任助教）　個人総合優勝，直転優勝，斜転優勝，跳躍 2 位
- 山田　光穂（M2）　個人総合 2 位，直転 2 位，斜転 2 位，跳躍 4 位
- 萩原 沙里菜（体育 4）　個人総合 5 位，直転 6 位，斜転 6 位，跳躍優勝

★上記 3 名が世界ラート競技選手権（5/23 ～ 28，デンマーク）の日本代表に選出！

【卓球】

秋季関東学生卓球リーグ戦（オープン）
男子 1 部
- ●筑波大 2－4 ○中央大
- ○筑波大 4－3 ●早稲田大
- ●筑波大 0－4 ○専修大
- ○筑波大 4－1 ●駒澤大
- ●筑波大 3－4 ○法政大
- ●筑波大 2－4 ○日本体育大

最終結果：2 勝 4 敗，5 位（7 校中）

女子 1 部
- ●筑波大 3－4 ○早稲田大
- ●筑波大 3－4 ○青山学院大
- ●筑波大 2－4 ○専修大
- ●筑波大 1－4 ○中央大
- ○筑波大 4－3 ●日本大
- ●筑波大 0－4 ○東京富士大
- ●筑波大 2－4 ○東洋大

最終結果：1 勝 6 敗，7 位（8 校中）

-2022.01/31 RESULTS

関東学生卓球選手権大会
男子シングルス
竹内　　佑（体育３）　ベスト16
佐藤　祐人（体育２）　ベスト16
女子シングルス
中田　玲奈（体育３）　準優勝
平川　　咲（体育３）　ベスト８

天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会
男子シングルス
竹内　　佑（体育３）　４回戦敗退
熊本　竜己（体育４）　２回戦敗退
田中 虹太朗（体育４）　２回戦敗退
佐藤　祐人（体育２）　２回戦敗退
齋藤　　玲（体育２）　１回戦敗退
男子ダブルス
齋藤　玲（体育２）・眞坂　樹（関西学院大）
２回戦敗退

男子シングルス竹内佑

女子シングルス
中田　玲奈（体育３）　５回戦敗退（ベスト32）
中田 絵梨奈（体育１）　１回戦敗退
女子ダブルス
花木 愛理（体育２）・山口 結愛（東洋大）
２回戦敗退
米田 彩乃（体育１）・鳥井 春菜（twinkle）
１回戦敗退

ハイレベルな戦いでベスト 32 に入った中田玲奈

【軟式庭球】

関東学生ソフトテニス研修大会（女子３部）
○筑波大 3－0 ●東京学芸大
○筑波大 3－0 ●昭和学院短期大
●筑波大 1－2 ○東海大
○筑波大 2－1 ●都留文科大
最終結果：3 勝 1 敗，2 位（5 校中）

【男子バスケットボール】

第73回全日本大学バスケットボール選手権
１回戦　○筑波大 126－73 ●富山大
２回戦　○筑波大 86－43 ●福岡大
準々決勝　○筑波大 81－78 ●日本大
準決勝　●筑波大 51－62 ○白鷗大
３位決定戦　○筑波大 69－58 ●専修大
最終結果：第３位
優秀選手賞：　二上 耀（体育４）
クリーン・ザ・ゲーム賞：　筑波大

【女子バスケットボール】

第73回全日本大学バスケットボール選手権
１回戦　○筑波大 110－23 ●松山大
２回戦　○筑波大 97－78 ●桐蔭横浜大
準々決勝　●筑波大 59－68 ○白鷗大
最終結果：ベスト８

【バドミントン】

第75回全日本総合バドミントン選手権大会
男子シングルス
永渕 雄大（体育１）　予選２回戦敗退
男子ダブルス
藤澤 佳史・永渕 雄大（体育2/体育１）
予選１回戦敗退
女子シングルス
栗原 あかり（体育２）　ベスト16
溝口 なつめ（体育３）　ベスト16
佐川　智香（体育３）　本戦１回戦敗退
染谷 菜々美（体育２）　予選１回戦敗退
女子ダブルス
大石　悠生・長廻 真知（体育3/体育１）
本戦１回戦敗退
栗原 あかり・青木 もえ（体育2/体育１）
予選１回戦敗退

【男子バレーボール】

第74回全日本バレーボール大学男子選手権大会
２回戦　○筑波大 3－0 ●立命館大
３回戦　○筑波大 3－1 ●日本大
準々決勝　○筑波大 3－1 ●近畿大
準決勝　●筑波大 2－3 ○順天堂大
３位決定戦　●筑波大 2－3 ○中央大
最終結果：第４位
スパイク賞：　エバデダン・ラリー（体育３）

天皇杯全日本選手権大会＜ファイナル＞
１回戦　●筑波大 0－2 ○堺ブレイザーズ（V1）
よって，１回戦敗退

【女子バレーボール】

第68回全日本バレーボール大学女子選手権大会
２回戦　○筑波大 3－2 ●天理大
３回戦　○筑波大 3－0 ●神戸親和大
準々決勝　○筑波大 3－0 ●尚絅学院大
準決勝　●筑波大 1－3 ○東海大
３位決定戦　○筑波大 3－1 ●長崎国際大
最終結果：第３位
サーブ賞：　大山 遼（体育２）

皇后杯全日本選手権大会＜ファイナル＞
１回戦　○筑波大 2－1 ●ルートイン ホテルズ ブリリアントアリーズ（V2）
２回戦　●筑波大 0－3 ○埼玉上尾 メディックス（V1）
よって，２回戦敗退

【男子ハンドボール】

第73回日本ハンドボール選手権大会
１回戦　○筑波大 33－27 ●ゴールデン ウルヴス福岡
２回戦　●筑波大 21－37 ○トヨタ車体
よって，２回戦敗退

【女子ハンドボール】

第73回日本ハンドボール選手権大会
１回戦　●筑波大 27－30 ○大阪体育大
よって，１回戦敗退

【ラグビー】

関東大学Jr選手権
△筑波大 28－28 △専修大

ワールドラグビーセブンズシリーズ2022 セビリア
植村 陽彦（体育３）日本代表出場
※日本代表　11位タイ

【陸上競技】

全日本大学女子選抜駅伝競走「富士山女子駅伝」
＜総合記録＞
筑波大　2：36’17”　第23位
※8 年ぶり 2 回目出場
＜区間記録＞
１区（4.1km）澤井　柚葉（体育２）　13’42”　区間19位
２区（6.8km）樫原　沙紀（体育２）　22’58”　区間22位
３区（3.3km）兵藤　柚花（体育２）　11’04”　区間21位
４区（4.4km）本庄 悠紀奈（体育３）　16’43”　区間23位
５区（10.5km）髙橋　香澄（人文４）　37’01”　区間22位
６区（6.0km）阿部　風薫（知識３）　22’04”　区間24位
７区（8.3km）西永　菜津（体育４）　32’45”　区間21位

第98回東京箱根間往復大学駅伝競走
＊関東学生連合チームで出場
福谷 颯太（体育３）５区（20.8km）1：13’01”　区間10位相当
関東学生連合チーム　総合11：00’25”　14位相当　※オープン参加

第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走
西永 菜津（体育４）　山口県チーム　４区（4km）　13’48”/区間33位
澤井 柚葉（体育２）　石川県チーム　２区（4km）　14’15”/区間47位

最新の試合結果

つくばスポーツOnline
https://tsa.tsukuba.ac.jp

女子サッカー部　8年ぶりにインカレ準決勝進出！第3位

第30回全日本大学女子サッカー選手権大会（12/24-1/6@兵庫,東京，通称インカレ）にて，2013年の準優勝以来，8年ぶりに準決勝進出を果たし3位入賞．
2021年は「誇高」というスローガンのもと，皇后杯本戦（11-12月）で部史上初の初戦突破，インカレ3位（2020：2回戦敗退，2019:ベスト8）など更なる飛躍をされた女子サッカー部の皆さんにお話しを聞きました．

―インカレを戦っての感想

▷副将　千葉 玲海菜（体育専門学群4年）

目標であるインカレ優勝を目指して1年間取り組んできました．
結果は3位．優勝には届きませんでしたが，この仲間と1年間戦い抜くことができてよかったです．たくさんの方々の応援や支援があって活動ができてることを忘れず引き続き取り組んでいきたいと思います．

―今シーズン，目標達成に向けてのチームでの取り組みやチームを牽引する中で意識してきたこと，それらの成果として感じたことは？

▷主将　蓮輪 真琴（体育専門学群4年）

最大の目標である「インカレ優勝」に向けて，ピッチ内外

インカレ2回戦にて：今季一度も勝利できていなかった強豪東洋大に0-0. PK戦の末に勝利し準々決勝進出を決めた．（※表紙に集合写真あり）

問わず，一人一人がそれぞれの立場でできることを最大限発揮し，全員で一つの目標に向かって１年間努力しました．一人一人が妥協することなく，頑張り続けることができたからこそ，8年ぶりインカレベスト４という結果を収めることができたと思います．また，たくさんの応援が力になりました．ありがとうございました．

▷主務　梶井 風薫（体育専門学群4年）

チームを牽引する中で一番重要であったことは，「仲間の力」です．うまくいかない時・もがいている時，支え，励まし合ったのはチームメイトでした．2021年度は試合数が多いシーズンでした．体力的にも精神的にも踏ん張る時間が多かったです．そのため，たくさんのコミュニケーションをとり，チームの力を最大限に発揮できるようチーム全体で高め合いました．それが，このように結果という形に残りとても嬉しく思います．

―2022シーズンに向けた抱負

▷新主将　押鴨 叡（理工学群工学システム学類3年）

今シーズンはチームの体制も大きく変わる中で，チーム一丸となり，一歩一歩昇るという想いを込め，「一昇（いっしょう）」というスローガンを掲げています．このスローガンのもと，昨シーズンを超えられる成績を残せるよう，一戦一戦結果にこだわり，闘っていきたいと思います．

箱根駅伝　福谷颯太(体育3)が5区・箱根の山を走破！

©月刊陸上競技

大平台（7km地点）で同期の五十嵐優汰（体育3）から給水とパワーをもらう福谷

第98回箱根駅伝（1/2-3開催）において，関東学生連合チームの５区走者として出場した本学の福谷颯太（体育３）は，区間10位相当となる1時間13分01秒で走破し，連合チームの総合タイムの過去最高記録更新（参考記録）に貢献しました．

＜関東学生連合チーム成績＞

5区（20.8km）	福谷 颯太（体育3）	往路：5時間30分15秒	15位相当
1時間13分01秒	区間10位相当	復路：5時間30分10秒	10位相当
※オープン参加のため参考記録		総合：11時間00分25秒	14位相当

―箱根駅伝を実際に走って感じたことは？

▷福谷 颯太（体育専門学群3年/新・駅伝主将）

「箱根駅伝は残酷なほど過酷で，だからこそたくさんの人々を魅了する」．箱根駅伝を走ってみて真っ先に感じたのはそういった感情でした．今までテレビで見ていた大舞台を実際に走るのは，なんとも言えない不思議な気持ちでした．どんなに進んでも絶えない沿道の人，応援の声．しかし，それを忘れるくらい走っている時はきつく，特に登りきってからの下りでは立ち止まりたくなるほどでした．自分としては万全の準備をしてきたつもりでしたが，それでも足りなかったことを痛感させられました．それほど過酷で，且つ，駅伝という競技だからこそ人々は走りたくなり，応援したくなるのだなと思いました．
来年こそはチームで出場します！

福谷選手のレポート全文はこちら

筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト公式HP
http://tsukuba-hakone.win/

学生アスリートが企業と出会う2日間「Student-Athlete キャリアフェア」を初開催

学生アスリートのキャリア支援の一環として，「Student-Athlete キャリアフェア（主催：株式会社セキショウキャリアプラス，共催:筑波大学アスレチックデパートメント）」を，2022年1月27･28日，筑波大学内にて開催しました．本イベントは，学生アスリートがより自分らしい進路選択ができることを期待して企画，開催されました．

学生アスリートと企業がお互いを深く理解し合う！

1日目には，選抜された25名の学生アスリートが参加．プレゼンテーションと，個別面談会を通じて，学生アスリートと企業担当者が，より深くお互いについて理解し合う機会となりました．1日の終わりには，企業担当者から参加学生に，企業交流会や個別説明会等への「特別オファー」も行われました．

2日目には，企業交流会がオンラインにて開催．1年生～大学院生までの学生アスリート，のべ104人が参加．参加した学生は，企業紹介や企業への質疑応答などを通じて，今後の就職活動に向けてヒントを得ました．

1 日目に参加した学生アスリート

新チームの始動に向け，2日間の「リーダー研修」を開催 筑波大学15チーム41名のリーダーたちが一堂に集結！

筑波大アスレチックデパートメントでは，人材教育コンサルティング企業「アチーブメント株式会社」様と共に設計した，これからチームを率いるリーダーのための研修「Future- Creation Leadership Program」を，2022年2月5・6日，つくば国際会議場にて開催しました．

「チームを良い方向に導きたい！」リーダーの想いを形にする

この研修は，アチーブメント株式会社と筑波大学アスレチックデパートメントが共同で，全国の学校スポーツのモデルとなるプログラムを準備．2日間を通して，高いパフォーマンスを発揮するための条件や，ビジョナリーリーダーの基礎，チームのビジョンの描き方，そしてビジョンを浸透させるためのコミュニケーションについて学びました．

どのチームのリーダーも「チームを良い方向へ導きたい」「そのためのアクションを全力で実行していく」という強い想いを表現してくれました．

これから1年，筑波スポーツ各チームの躍動に注目です！

プログラムの様子

【TSAトレーナーチーム】　学生トレーナーズミーティング

12月21日に2021年度第9回学生トレーナーズミーティングをオンラインで開催しました．今回は「ハムストリングス肉離れにおける応急処置から競技復帰・再発予防について」をテーマとしてTSAトレーナー Sレベルの出来龍太さん（M1）が発表を行い，多くの学生が参加しました．

勉強会では，初めにハムストリングスの機能解剖や肉離れの受傷機転，リスク因子について学びました．次に，スポーツ現場で行われているハムストリングス肉離れ予防メニューの紹介や，応急処置・リハビリについて勉強し，実際にスポーツ現場でハムストリングス肉離れの疑いがある選手に対して適切に対応すべき内容を確認しました．ハムストリングス肉離れは発症すると一定期間の競技離脱が必要になり，これまで向上してきたパフォーマンスも低下してしまいます．今回勉強したことを実際に目の前の選手に対して指導し，選手の傷害予防・パフォーマンス向上につながるようサポートしていきたいと思います．

TSAトレーナーチームでは毎月1回学生トレーナーズミーティングを開催し，トレーナーに必要な知識・技術の向上を目的として活動をしています．トレーナーとしての勉強をしたい人や，選手のサポートをしてみたい人は，ぜひTSAトレーナーに申し込んでみてください！

https://tsa.tsukuba.ac.jp/trainers/

TSAトレーナーチームとは？

アスレティックトレーナーを目指す学生はもちろんのこと，各運動部で選手のコンディションを支える役割を担っている学生，教員や指導者を目指している学生，医療の道でアスリートに関わっていきたい学生など，様々な学生が登録しています．その多くは運動部に所属し，選手としてあるいはスタッフとして日々活動しながら，勉強会などでトレーナーとしての基本を学び，先輩トレーナーの下で現場実習や競技会サポートに参加するなど貴重な経験を積んでいます．

<TSAトレーナーチームのレベル認定制度>

TSAトレーナーチームには本学独自の認定制度があり，活動状況や認定試験によって4段階のレベルがあります．レベル認定されることは，選手に接する際の自信に繋がり，所属運動部での活動を積極的に行うきっかけになります．学外でも活動できるレベルになれば，地域貢献や部活動支援など視野も広がります．現在は，アスレチックデパートメント（AD）と連携し，さらに競技の垣根を超えたトレーナー活動を充実させるべく，今以上に多様な学生が参加しやすいトレーナーチームになることが期待されています．

筑波大学スポーツサポーターの皆様（2021年11-12月にご寄附を頂いた皆様）

TSAでは，特定基金によるご寄附をお願いしております．支援先は，TSA全体，各運動部（44団体），TSAトレーナーチーム，箱根駅伝復活プロジェクトから選択いただけます．
ご寄附いただいた皆様には，感謝の意を込めてご芳名を掲載させていただいております．（ご希望者のみ）

渡邊徹様　村上ゆかり様　脇田建介様　阿江通良様　土屋真実様　野呂裕樹様　ヘリヤー万紀子様　宇佐美慧様
中川知秋様　北條梨沙様　寺口順子様　北條英次様　葛山清光様　吉村優様　小林潤子様（順不同）

※筑波大学特定基金につきましてはTSAウェブサイト https://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/ をご覧ください．

記事URL：つくばスポーツオンライン
https://tsa.tsukuba.ac.jp
編集協力：筑波大学アスレチックデパートメント
https://www.tsukubaowls.com/

■発行元：筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）
URL：https://tsa.tsukuba.ac.jp
TEL：029-853-8093